

表1 臼杵湾赤潮プランクトン調査結果(H30.7.11)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャトネラ spp.	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1. 大在	8:43	0	26.1	—	—	0	0	0	0
		2	25.2	—	—	0	0	0	0
2. 神崎	8:55	0	25.5	—	—	0	0	0	0
		2	24.0	—	—	0	0	0	0
3. 古宮	9:10	0	23.7	—	—	0	0	0	0
		1	23.4	—	—	0	0	0	0
4. 一尺屋	9:23	0	25.2	—	—	0	5	0	0
		1	24.9	—	—	0	0	0	0
5. 下の江	9:47	0	24.2	28.17	—	0	4	0	0
		6.5	20.9	32.77	—	0	1500	0	0
6. 下の江(奥)	9:54	0	24.2	28.48	—	0	0	0	0
		5.5	21.0	32.73	—	0	783	0	0
7. 日ノ浦	10:25	0	24.3	25.90	—	0	0	0	0
		5	21.0	32.58	—	0	650	0	0
8. 三つ子養殖場	10:08	0	22.8	30.31	—	0	4	0	0
		7	20.7	32.70	—	0	1200	0	0
9. 三つ子養殖場	10:01	0	23.7	29.03	—	0	2	0	0
		6	20.7	32.69	—	0	1050	0	0
10. 黒島	10:17	0	22.5	31.77	—	0	0	0	0
		5	20.8	32.83	—	0	300	0	0
11. 日代	11:17	0	25.6	—	—	0	26	0	0

連絡事項:

有害プランクトンのカレニア・ミキモトイが水深5～7mで確認されました。さらに増殖する可能性があります。

養殖魚のほか、港などで蓄養している魚、貝類が死亡する恐れがあります。餌止め、出荷等の対応を取ってください。

※中部振興局採水・検鏡

参考:マグロ類における赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャトネラspp.	1以上	10以上
ヘテロシグマ・アカシオ	500以上	5000以上
カレニア・ミキモトイ	20以上	200以上
コクロディニウム・ポリクリコイデス	3以上	30以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。
* 魚の生理状態や環境条件等によって、上記警戒密度より低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

